



ふるさとの川
あらかわづくり協議会
会長 伊藤 賢之

平成22年度を振り返って

荒川流域への来訪者増加

本年度も荒川づくり協議会へ多くの皆様からご支援、ご協力を賜り感謝と御礼を申し上げます。

今年も環境教育、河川学習、荒川探訪会など多くの方に参加して頂きありがとうございました。クリーンアップ作戦も年々大きな輪に広がっております。

さて、冊子「荒川とともに」を作製し、沿川の小・中学12校へ計900部を贈呈し理科や総合学習に活用して頂いております。また、土木遺産シンポジウムを開催しましたところ大勢の方が出席され理解を深めて頂きました。今後も荒川流域が年間を通して憩いの河川として頂くために地道な活動を継続して参ります。

荒川大將養成塾

4月24日(土)水林自然林・地蔵原堰堤・佐原堰・大暗渠・第5堰堤等 5月9日(日)桜堤公園・古荒川で水生生物調査 6月26日(土)ホテル観察会とライトアップによる昆虫採集と星の観察 7月25日(日)水林自然林付近で夏の昆虫観察会 2月13日(日)雪の中で小動物の足跡探検

第一回は満開の桜の中20名で実施。切り株の年輪を数えたり水生生物を調査。オオミドリシジミの極小の卵を発見。カタクリやエンレイソウの可憐な花を観察。2回目は古荒川が整備されたので荒川河川敷で実施。大人も子供も泥だらけになり採集に熱中、29名が参加。第3回は気温が高く多数のゲンジとヘイケボタルを観察できた。ライトアップはオオヨコバイ等の小さな昆虫が多かった。ヒゲナガカワトビケラの成虫を発見。23名が参加、第4回は14名、第5回は35名の参加。



昆虫採集 水生生物観察



古荒川での雑魚すくい 夜のトラップ

荒川フェスティバル

5月15日(土)桜つつみ河川公園で協議会のPR・カブトムシ幼虫の無料配布・風揚げ教室14回目を迎え盛大に行われた。700匹を用意した幼虫に長蛇の列。孫を喜ばせようとする祖父母の姿が目立つ。自分が作った凧を得意になって揚げる子供、高くあがった凧が注目を集めた。



たこ作り教室 カブトムシの幼虫

あらかわ・ふるさとの川 荒川ウォーキング

6月6日(日)ポイントにて荒川の紹介

3年目を迎えた四季の里主催の荒川ウォーク。年々参加者が増える。協議会も協力し役員が各ポイントで説明を行い好評であった。



水林林内 地蔵原堰堤

荒川クリーンアップ作戦

5月29日第5堰堤～阿武隈川合流点
7月17日(土)第5堰堤～阿武隈川合流点
10月23日第5堰堤～小富士橋・荒川資料室周辺
恒例となった大作戦。1・2回は6カ所、3回目は2カ所で7～9時まで実施。草刈りやゴミ拾いを行い、資料室で分別をした。多数の事業所から参加、個人の参加も多かった。1回目は約1,000名、2回目は約550名、3回目は約160名が参加した。



八木田橋 桜つつみ公園



佐倉橋 小富士橋



ゴミの分別 集められたゴミ

あらかわ探訪会

8月21日(土) 自修団より幕滝まで
10月16日(土) 資料室から天沼のへつりまで

1回目は25名が参加。幕川に沿って歩き水生生物の調査。温泉で疲れを癒し昼食。2回目は荒川の手つかずの自然探索。増水した川を膝付近まで濡らし数回横切り獣道をかき分けて進んだ。50名参加した。



幕滝 へつりを目指して川を渡る

水質・水生生物調査

5月30日(日)・7月11日(日)・9月26日(日)
12月5日(日)の4回 荒川桜堤・荒川橋下流・地蔵原堰堤の3カ所

荒川河川区域に生息している魚類、底生動物(水生昆虫、エビ、カニ、貝など)、両生類、爬虫類、哺乳類、鳥類、陸上昆虫類、植物、定点から景観の変化を調査し、河川環境保全の資料にしている。



植物調査 水生生物調査

サケの稚魚放流

2月14日(月)
あらかわクリーンセンターの北側

寒空の下ほほを赤く染め
吉井田・三河台小4年生
169名の生徒が、4年後元気に帰ってくることを願い、冷たい荒川の清流にサケの稚魚約1万匹放流した。



4年後を楽しみに
稚魚を放流

各企業様からの助成金で 多くの備品を揃えました…感謝

今年度は下記3団体様より助成金を頂きました。
双眼鏡3台、プリンター1台、指導者用ネーム入り帽子、ベスト、他資料作成などに使わせて頂き大変助かりました。会員一同感謝と御礼を申し上げます。

(財)福島県林業会館フォレスト助成事業
ふくしま元気市民活動助成金
福島中央ロータリークラブ未来づくり市民活動助成金



双眼鏡 帽子 ベスト